

新潟県 錦鯉養殖業者（錦鯉を世界各国へ）



泳ぐ宝石・錦鯉

「泳ぐ宝石」と呼ばれるような優美な姿を持ち、日本を代表する観賞魚である錦鯉を20年以上前からオランダ、ドイツ、アメリカをはじめとした世界各国へ輸出。

平成16年の新潟県中越地震により甚大な被害を受けたが、県内の錦鯉養殖業者が連携し合いながら復興を図り、積極的な輸出拡大に取り組んでいる。

【輸出実績】

平成20年	→	平成23年
633千尾(22カ国)		866千尾(28カ国)
(輸出衛生証明書を必要とする国のみ)		

【販売戦略、工夫した点等】

- ・ 新たな疾病(コイヘルペス病)の蔓延防止に対して地区の生産者全体で迅速に対応するなど、顧客の信頼を得るため、疾病対策を強化。
- ・ 海外バイヤーに対する錦鯉の輸送・飼育方法の技術指導や海外で行われる錦鯉の品評会での審査協力・指導の実施。
- ・ アジアカップ錦鯉品評会などの海外で行われる物産展への参加や海外で好まれる品種を集中的に生産。

【輸出によるプラスの効果・メリット等】

- ・ 錦鯉養殖業が地域における中山間地での基幹産業となり、後継者確保につながっている。



錦鯉品評会に来場した外国人